

じんそくじ 神足寺だより

No.37

真宗大谷派 神足寺通信

2024年 春彼岸号

暗闇の中でこそ

星が見える

「不安、悩み、苦しみ、孤独・・・」

そういつた暗闇に落ちないよう「人生明るく、楽しく、ワイワイと」
そうあるべきだとの思いで毎日を走り続けてきたが、正直、疲れた。

そんな時、友人から「大丈夫？ 疲れてない？」との問いかけ。

せき止められていた思いが溢れ、とめどなく涙が流れた。

「人生はこうあるべきだ」という自分勝手な思いが、

暗闇の中を歩かせていたのだ。

ふと、夜空を見上げると星の輝き。自分の人生の闇を教えられた。

暗闇の中でもがいていたからこそ、星の輝きが見えたのだ。

その光は眩しかった。